

「平成29年度危険物安全週間」推進行事の実施結果

危険物保安室

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週（平成29年度は6月4日（日）から6月10日（土）までの7日間）を「危険物安全週間」として、危険物保安に対する意識の高揚及び啓発を推進する様々な行事を開催しました。

◇危険物安全大会

6月5日（月）に開催した「危険物安全大会」では、危険物保安功労者等の表彰式及び記念講演が行われ、開式に当たり青木信之消防庁長官が式辞を述べました。

●消防庁長官式辞

平成29年度危険物安全大会表彰式を挙げるに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日の表彰式は、危険物を取り扱う事業所の皆様におけます保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に関する意識の向上を目的とした、危険物安全週間の行事の一環として行うものでございます。

本日、表彰を受けられます皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、その御功績に対し、深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨年度の主な災害を振り返りますと、4月の熊本地震では、多くの尊い人命と財産が失われました。また、8月には、一連の台風等による大雨被害により、各地で河川が氾濫し、年末には、新潟県糸魚川市におきまして、大規模火災が発生、2月には、埼玉県三芳町において大規模倉庫火災が発生するなど、国民の命、財産に大きな影響を与える災害が発生いたしました。

危険物に係る事故に目を向けますと、平成28年中の危険物施設におけます事故発生件数は前年に比べ増加し、依然として高い水準にあります。事故原因は、設備の腐食劣化などの物的要因や、維持管理不十分・操作確認の不十分などの人的な要因が挙げられます。

危険物事故は一たび発生しますと、甚大な被害をもたらすおそれがあります。事故を未然に防ぐことが最も重要であることは言うまでもありません。このためには、まず、リスクを把握できる人材を育成するため、保安教

育を充実させるとともに、熟練者の保安に関する知識・技術の伝承を徹底すること。そして、リスクアセスメントを適時適切に行い、残存リスクの認識とそれらに対する適切な対応体制を整備すること。さらに、企業全体の保安確保に向けた体制作りが不可欠であると考えております。

また、平常時のみならず、地震想定や津波想定を踏まえたハード及びソフト双方におけます地震・津波対策の再検討を行うとともに、被害を最小限にし、被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等を適切に実施することができるよう、事前計画の作成や訓練等を通じた習熟度の向上を図ることが重要でございます。

本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向け、更なる御活躍と、地域社会の安全への一層の御貢献を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御出席の皆様の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。



危険物安全大会表彰式における青木信之消防庁長官の式辞

●消防庁長官表彰

- 1 危険物保安功労者（個人） 19名
- 2 危険物保安功労者（団体） 2団体
- 3 優良危険物関係事業所 24事業所
- 4 危険物安全週間推進標語
「あなたなら 無事故の着地 決められる!」
上野 玲子 氏
- 5 危険物事故防止対策論文
「大学における危険物管理と
危険物講習会の開催について」
東京大学 工学系等安全衛生管理室
木崎 陽一 氏 茂木 俊夫 氏
滝口 裕実 氏 加藤 智弘 氏



危険物保安功労者等の受賞者の皆様

●記念講演

広瀬 弘忠 氏
（東京女子大学 名誉教授）
「安全を守るために、なにが大切か」



広瀬弘忠氏による記念講演

◇危険物施設安全推進講演会

6月6日（火）（東京会場）及び8日（木）（大阪会場）に開催された「危険物施設安全推進講演会」では、危険物関係事業所の従業員や消防関係者を対象として、基調講演及び事故事例発表が行われました。

●基調講演

鶴田 俊 氏
（秋田県立大学 機械知能システム学科長
機械知能システム学専攻長）
「規制とリスクと不確実性」

●災害防止に向けての取組

吉村 宇一郎 氏
（石油連盟 常務理事）
「産業保安に関する自主行動計画について」

●事故事例発表

田中 幸吉 氏
（市原市消防局 火災予防課 安全指導係長）
「浮き屋根式屋外タンク貯蔵所における
油漏洩事故について」



鶴田俊氏による基調講演（東京会場）

このほか、各都道府県及び全国の消防本部においても講演会、研修会、広報・啓発活動、立入検査、消防訓練、表彰式等の様々な行事が行われました。

問い合わせ先

消防庁危険物保安室 企画係 菊地・篠崎
TEL: 03-5253-7524